

# アズキ新品種「紅舞妓大納言」のコンバイン 収穫向け栽培マニュアルを作成 (農林センター)

生物資源研究センターが育成したアズキ新品種「紅舞妓大納言」のコンバイン収穫に向けた特性評価と機械化栽培マニュアルを作成

特徴①:「紅舞妓大納言」は多収で粒が大きく、コンバイン収穫の歩留まりも良好

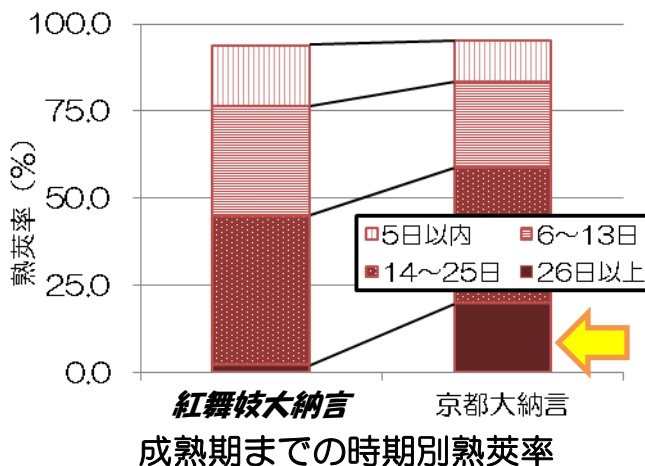
品種	収量 kg/10a	百粒重 g	刈高さ cm	コンバイン 収穫時歩留 %
「紅舞妓大納言」	250.0	23.0	6.9	88.6
「京都大納言」	195.7	21.9	9.3	81.1

- ・収量28%アップ、大粒傾向
- ・やや直立性の草姿のためコンバイン操作がしやすく、刈高を低く調節でき、収穫歩留が良好に。



「紅舞妓大納言」の  
コンバイン収穫

特徴②:「紅舞妓大納言」は熟莢はじめから成熟期までの期間が短い  
⇒ 一斉収穫に適



- ・コンバイン収穫適期（熟莢率95%）の26日以上前に熟莢となっていたものが京都大納言は20%（紅舞妓大納言は2%）脱粒や二次病害等品質低下が起こりやすい。

コンバイン収穫物でも「紅舞妓大納言」の製餾特性は、京都大納言と同等以上の評価

⇒ 機械化体系生産者を対象とした  
『紅舞妓大納言』の栽培マニュアルを作成しました。

- ・「紅舞妓大納言」は従来品種の「京都大納言」に比べ、莢成熟の揃いが良く、一斉収穫の適性があり、直立性草姿によるコンバイン操作性も良好
- ・栽培マニュアルは農林センター、農業改良普及センターで提供

- ・「紅舞妓大納言」の優良な特性を発揮させるには、排水対策や病害虫・雑草防除等、基本技術の励行が必要なため、栽培マニュアルにも注記しています。